

# 12月議会報告

12月議会では、一般会計補正予算や、関沢児童館等、公の施設を引き続き指定管理者に管理運営させる議案、放課後児童クラブの職員配置や指導員（職員）の待遇改善に関する陳情等が審議されました。

一般会計補正予算は、その内容の多くが事業の歳出金額の確定に伴う減額補正であり、それは私たちが従前主張してきた、限られた予算を有効に使うという考え方を反映したものである為、執行部の対応を評価し賛成しました。（結果は可決）

指定管理者の議案では児童館、パレット、老人センター、自転車駐輪場それぞれにつき、これまでの実績から引き続き同じ事業者に管理運営させて良いとの判断をし、賛成しました。（結果はそれぞれ可決）

放課後児童クラブの陳情では、私の子どもがお世話になっている事から趣旨はよく理解できるものの、指定管理者契約の途中であり、今は契約内容の変更をするタイミングではないとの判断から、残念ですが不採択を主張しました。（結果は不採択）

なお、詳しい議論の様子はインターネットでご覧頂けます。是非一度、ご覧になって下さい。

## トピックス・・・議会報告会開催

去る11月10日（土）、富士見市議会初の議会報告会が開催されました。午後（市役所）、夜間（水谷東公民館）の2回、9月議会の報告を致しましたが、合わせて53名の市民の皆様にご参加頂き、忌憚の無いご意見を頂戴致しました。実行委員長として厚く御礼申し上げます。有難うございました。議会基本条例に基づき、初めて開催されたわけですが、少しだけ市民の皆さんと議会の距離が近付いたのではないかと自負しております。今後、毎年1回以上開催されますので、今回の反省を生かし、より良い報告会を重ねていければと思います。是非、ご参加下さい。

# 12月議会の一般質問から

## ① 休日開庁について

Q 昨年十一月よりスタートした恒常的な休日（土曜）開庁だが、どのように評価しているか。

A 一回の開庁につき、半日ではあるが約百二十人の利用者があり、効果的である。今後も同様の方法でやっていきたい。

## ② 子育て環境の充実について

Q 平成二十七年度より子ども子育て新システムがスタートする予定だが、多くの関係者より、保育の質の低下、保育料の増加、公的責任の後退等、不安の声を聞く。当市としてどう対応するのか。

A 当市としては基本的にこれまでと変わらないので心配ない。

## ③ 文化芸術振興条例について

Q 基本計画の策定を急ぐべきではないか。

A 内容が多岐に渡るので、手続きを踏んでいきたい。

Q 条例第六条の市の責務を果たす意味でも、来年度予算で文化関係予算を拡充すべきではないか。

A 計画策定後、対応する。